

# K-HALL Afternoon Live

K-HALL アフタヌーン・ライブ  
Presented by YKK Corporation

## 2018

会場 / K-HALL マルチホール  
入場料 / 3,500 円 (1ドリンク付き)  
[チケット取扱: ホテルアクア黒部 / A-CAFE]

## CLASSIC

### 3/24 sat

開場14:30 / 開演15:00

[出演]

吉田直矢 (ヴァイオリン)  
河崎恵 (ピアノ)

#### 演奏予定曲

ジョニーがいなくて... (スコットランド民謡)  
リベルタンゴ (ピアソラ)  
ワイルド・スタリオズ (葉加瀬太郎)  
カタリ・カタリ (カルディッロ)  
カルメンファンタジー (ドルドラ)  
ほか

## POPS

### 4/21 sat

開場14:30 / 開演15:00

[出演]

アコースティックユニット  
アンチモン

#### 演奏予定曲

グリーンダカラちゃんのうた  
おふろのうた  
会えない夜は電話しよう  
パンケーキ  
銀河フィラメント  
ほか

## JAZZ

### 5/12 sat

開場14:30 / 開演15:00

[出演]

岩崎佳子 (ピアノ)  
中牟礼貞則 (ギター)  
稲葉國光 (ベース)  
宮野裕司 (アルトサクソフォン)

#### 演奏予定曲

All The Things You Are,  
The Second Time Around,  
Black Orpheus,  
Bach's Groove,  
Beautiful Love,  
ほか

## K-HALL

お問合せ (受付時間 9:00 ~ 17:00 / 平日のみ)  
〒938-0042 富山県黒部市天神新 444-9  
Tel : 0765-32-3214  
[E-mail] info@k-hall.jp  
https://www.k-hall.jp/

あいの風とやま鉄道「黒部駅」徒歩0分



# K-HALL Afternoon Live

出演者プロフィール

## CLASSIC

吉田直矢  
Naoya Yoshida  
(ヴァイオリン)



5歳でヴァイオリンを始める。桐朋学園大学卒業後、パリ・エコール・ノルマル留学。セルジュ・ブラン氏(元パリオペラ座ソロコンサートマスター)に師事。留学中、パリで開催された第65回レオポルド・ベランコンクール第1位、第10回パッハ国際コンクールで最優秀賞を受賞。1999年7月東京オペラシティにてソロコンサート『VIOLIN DE NIGHT』シリーズ開始。2010年より毎年、新潟の横田めぐみさんの同級生主催の「横田めぐみさんとの再会を誓うチャリティーコンサート」に出演。2017年には世界的ピアニスト、フジコ・ヘミングにアンコール・ゲストとして呼ばれ、ガーシュウインのサマータイムを共演。

河崎恵  
Megumi Kawasaki  
(ピアノ)



桐朋学園大学音楽科卒業。山田朋子、竹内啓子、奈良場恒美の諸氏に、伴奏法を白石隆生氏に師事。オペラ、器楽、バレエ等の伴奏者として多方面で活躍。カルメン、ヘンゼルとグレーテル、道化師、ルチア、椿姫、リゴファンタジーレット、仮面舞踏会、ラ・ボエームなどのオペラを、数々のオペラ団体の公演で演奏し好評を博す。又、器楽演奏家との共演も多く、吉田直矢・APOのメンバーとしても活動し、全アルバムのレコーディングに参加。内から溢れてくるパッションと美しい詩的なピアノは、聴く者の心に魅力的に響き、存在感を示している。

## POPS



アコースティックユニット アンチモン

赤松隆一郎(ボーカル/作詞/作曲)、井上央一(ギター/編曲)  
カンガルー(リーダー)からなるアコースティックユニット。

2012年に結成。言葉とメロディーに気を配りつつ、独自の歌世界を展開。最近ラジオ番組「アンチモンのそれ、歌ってみよう」など活動の場を広げている。赤松は「グリーンダカラちゃんのうた」をはじめとする、コマーシャルソングの作詞作曲、アーティストへの楽曲提供なども行っており、井上は他バンドのサポート、スタジオミュージシャンとしても活動している。リーダーのカンガルーに関しては名前不明、担当楽器も不明など、謎が多い。

[オフィシャル URL] <http://www.antimony-music.jp>

## JAZZ

岩崎佳子  
Keiko Iwasaki  
(ピアノ)



1957年仙台市に生まれる。国立音楽大学を卒業後、ジャズピアニストとして活動を始める。

透明感のあるサウンドと、スタンダードジャズからボサノヴァまで幅広いレパートリーには定評がある。また映像詩的なオリジナル作品は、ジャズテイストと『和』の感性をミックスした世界、と高く評価されている。今までにオリジナルを集めた『ノーザン・フォルクローレ』、ゲストに小野リサを迎えたボサノヴァ集『ア・ミラーゼン』、などのアルバムをリリースし、2017年には今回のメンバーと共演した『パッハズ・グルーヴ』をリリース。

中牟礼貞則  
Sadanori Nakamura  
(ギター)



1933年3月15日、鹿児島県出水市生まれ。'50年代初頭にプロデビュー。徳山陽や宮沢昭、渡辺貞夫、杉浦良三、前田憲男、猪俣猛らと共演。'60年代は高柳昌行らの新世紀音楽研究所に参加する傍ら、渡辺貞夫らとボサ・ノヴァを日本に紹介した。ジャズの1stアルバムは『Live At Shiny Stockings』。稲葉國光との『Conversation』('75)は名盤と名高い。さらに近年は『Inter Cross』『Remembrance』『Gentle Three』など。稲葉國光『BASSIN』、岩崎佳子『Bach's Groove』にも参加。

稲葉國光  
Kunimitsu Inaba  
(ベース)



1934年、静岡県生まれ。日本を代表するベーシストの1人。中村八大、八木正生、白木秀雄、日野皓正などの日本のジャズのトップグループで活躍してきた。1979年には、山本剛トリオのメンバーとしてモントルー・ジャズフェスティバルに出演。ソニー・ロリンズ、バーニー・ケッセル、ジョー・ヘンダーソン、バリー・ハリス、アン・パトーンなど海外のトップ・プレイヤーとの共演や録音も多い。

現役生活半世紀を越えて、現在も幅広く活動を続けているが2010年、待望のリーダーアルバム『BASSIN』(ペイスィン)をリリースした

宮野裕司  
Yushi Miyano  
(アルトサキソフォーン)



1948年岡山市生まれ。中学校のブラスバンドでサキソフォーンを始め、大学在学中より演奏活動を開始。ポール・デズモンド、リー・コニッツの音楽に影響を受け、柔らかく美しい音色には定評がある。シンプルでメロディアスな演奏は、ジャズだけでなく、ボサノヴァや、管楽器・弦楽器とのアンサンブルなどにもびったりである。